

ご挨拶

松原病院は、1927年4月に金沢大学精神医学教室初代教授である松原三郎が開設した私立病院であります。初代院長である松原三郎の遺志は2代目の松原太郎、3代目である松原三郎に引き継がれ、松原病院は100年近くの間、石川県民の方々に「人にやさしく、地域に信頼される医療」を提供してまいりました。

当院の外来には、震災で大切な方を失いところに傷を負った方、能登の凄惨な現場に直面しトラウマを抱えてしまった支援者の方、学校でいじめの被害にあい不登校となり孤独に苛まれている子どもたちや、虐待やDV被害にあい居場所を失った方、高齢になり身体が動かなくなることに絶望しうつ状態になった方など、様々なところの問題で悩まれる方が受診されます。いままで私たちは、このように地域のなかで悩まれている方々に対し、見返りを求めず手を差し伸べ続けてまいりました。また、私たちは、他の病院で対応することが難しい状況であっても断らず、「松原病院に行けばなんとかしてくれる」という地域の期待に応え続け、石川県の精神科医療における「最後の砦」としての役割を果たしてまいりました。

地域社会は苦しみや絶望、孤独など、ストレスにあふれております。いままで健康だった方が突然ところに傷を負ってしまい、社会生活が営めなくなるなど、とても不確実な世の中に我々はいます。私たちは、このような厳しい世の中で、石川県の皆様のところを支える杖になりたい。そう願いながら、皆様のところへ寄り添い続けます。

2024年4月1日

社会医療法人財団松原愛育会

理事長 松原 拓郎